

甲状腺¹³¹I内用療法シンポジウム

日時：平成16年9月12日(日) 9:30~16:30

場所：京王プラザホテル5F コンコードボールルーム(A)

プログラム

セッションⅠ 甲状腺癌の放射性ヨード内用療法—EBM作成に向けて—

I.1 I-131治療を施行しなかった症例の予後

渋谷 洋 先生

伊藤病院

岡本高宏 先生

東京女子医大内分泌外科

I.2 骨転移に対する放射線外照射の治療効果

丹生屋公一郎 先生

元国立横浜病院

I.3 肺転移に対するI-131治療の効果

友田智哲 先生

隈病院

I.4 I-131治療効果 —長期経過観察—

横山邦彦 先生

金沢大学核医学科

セッションⅡ バセドウ病の放射性ヨード内用療法—EBM作成に向けて—

II.1 I-131治療成績

野口靖志 先生

野口病院

窪田純久 先生

隈病院

II.2 手術、I-131治療、抗甲状腺薬治療の比較—寛解に至るにはどの治療法が最も有効か

吉村 弘 先生

伊藤病院

II.3 今後のエビデンスの集め方

日下部きよ子 先生

東京女子医科大学

II.4 アイソトープ治療の問題点について—特に眼症の悪化、投与年令、新生児バセドウ病

浜田 昇 先生

すみれ病院

II.5 患者説明用パンフレットについて

深田修司 先生

隈病院

セッションⅢ 診療報酬・法規制等

III.1 診療報酬の現状と要望

絹谷清剛先生

金沢大学

III.2 費用対効果費

小須田茂先生

防衛医大

III.3 法的規制・退出基準の現状

日本アイソトープ協会

主催：甲状腺I-131内用療法シンポジウム組織委員会

共催：(社)日本医学放射線学会、日本核医学会、日本甲状腺学会

日本小児内分泌学会、甲状腺外科研究会、(社)日本アイソトープ協会